

2009年5月20日

舗道における新しい歩行者ナビゲーションシステムを開発

～インターロッキングブロックを用いた直感的な道案内～

住友大阪セメント株式会社（東京都千代田区、社長：渡邊 穰）と国立大学法人埼玉大学大学院理工学研究科長谷川研究室（埼玉県さいたま市、教授：長谷川 孝明）は、舗道における新しい歩行者ナビゲーションシステムを開発しました。

本システムは、WYSIWYAS（ウィジ ウィアス）What You See Is What You Are Suggested 「見たままに お進みください」を基本設計概念としており、カメラ付き携帯電話機で、舗道に敷設されているインターロッキングブロックを撮影して、現在位置を把握し、撮影した画面上に進むべき方向をコメントと矢印で直接表示します。特別なインフラ整備をすることなく、地図による解釈を必要としない、直感的な道案内システムです。



従来のナビゲーションシステムは、今、自分はどこにいて、どちらを向いているのか？ 目的地はどちらの方向か？などの地図情報を理解する必要がありました。本システムは、携帯電話で撮影した舗道の画像上に矢印などで進むべき方向を示しますので、だれでも直感的に理解することができます。

本システムの最大の特長はコンシェルジュ性です。例えば、お腹が空いたあなたが「おにぎり」と入力すると、近くにあるコンビニエンスストアを案内します。今、あなたがし

たいこと、欲しいものなどをナビゲーションするデータベースの構築が可能です。

本システムに必要な設備は、一般的なカメラ付き携帯電話機と舗道に敷設されたインターロッキングブロックのみで、特別なインフラを整備する必要はありません。また、携帯電話の電波が届く場所であればどこでも利用できます。

【幅広い適用性】

- ✓ 似たような風景で地図を見てもわからない、新宿、渋谷の繁華街
- ✓ 衛星の電波が届かない、地下通路や地下街
- ✓ 森林公園や遊園地など、広大な敷地のナビゲーション
- ✓ 避難場所への誘導など、地域の防災情報との連携
- ✓ 駅前商店街の地域興し
- ✓ 音声読上げ機能付き携帯による視覚障害者のためのナビゲーション

今後は、本技術を使ったシステムの検討を進め、早期の事業化を目指していきます。

《本件に関する問い合わせ先》

住友大阪セメント株式会社 総務部 IR 広報グループ

TEL 03-5211-4505 FAX 03-3221-4651